

整理番号	HT29229	分野	自然・生物	キーワード	生物多様性・絶滅危惧種
------	---------	----	-------	-------	-------------

研究機関名	大阪市立大学				
プログラム名	森の植物園で学ぶ生物多様性				
先生(代表者)	植松 千代美(うえまつ ちよみ) 大学院理学研究科・准教授				
自己紹介	甲子園球場 6 個分の広さの植物園には日本の代表的な森 11 種類が再現・展示されています。この森をフィールドとして、絶滅危惧種を含む多様な動植物が生息するのはなぜか、地球温暖化防止に森がどのように貢献しているのかなど、森の機能と魅力を皆さんに伝える方法を研究しています。				
開催日時・募集対象	平成29年8月8日(火)	受講対象者	高校生	募集人数	20名
集合場所・時間	大阪市立大学理学部附属植物園・研究棟		(集合時間)	9:40	
開催会場	大阪市立大学理学部附属植物園・研究棟講義室ならびに植物園内 住所: 〒576-0004 大阪府交野市私市(きさいち)2000 アクセスマップ: http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/biol/botan/1_01_prof_files/0_01_04_a.html				
内 容					
67 年前に造成を始めた大阪市大理学部附属植物園は 25.5ha、甲子園球場6個分の広大な森の植物園です。そこは絶滅危惧種のクモや稀少種の植物も生息しています。 プログラムではこの森の植物園をフィールドとして生物多様性と絶滅危惧種について学びます。午前中はスライドやクイズも交えて、皆さんの身のまわりにどんな絶滅危惧種がいるのか、探してみます。午後は園内に生息する絶滅危惧種や稀少種の動植物を実際に探し、観察調査します。それらが自然界ではどうして絶滅に至ってしまうのかを考え、絶滅から守るためにはどうしたら良いかをみんなで考えてみます。 ランチタイムには植物園で研究する大学生、大学院生、留学生らと交流を深め、交流発表会では一日の成果を報告します。 植物園での活動を通じて、自然や生きものの不思議を体験しましょう。					
スケジュール 9:40~10:00 植物園入園窓口にて受付の後 会場となる植物園研究棟1階・講義室に集合 10:00~10:20 開校式(挨拶、科研費とプログラムの説明) 10:20~11:05 「森の植物園の多様な生きものたち」(講義) 11:05~11:15 休憩 11:15~12:00 「絶滅危惧種ってなんだろう?」(講義) 12:00~13:00 ランチタイム(大学生・大学院生・留学生と交流) 13:00~13:45 「園内散策と絶滅危惧種の観察Ⅰ」(フィールドワーク) 13:45~14:00 休憩(野外テントにて水分ならびに塩分補給) 持 ち 物 筆記用具、帽子、水分補給のための水筒かペットボトル、虫さされや怪我予防のためフィールドでは長袖・長ズボン着用、汚れてもよい歩きやすい靴、雨天が予想される時は傘、カッパ、ポンチョなどの雨具。					

14:00～14:45 「園内散策と絶滅危惧種の観察Ⅱ」(フィールドワーク)	特記事項 雨天時も雨天対応プログラムで実施します。
14:45～15:00 講義室へ戻り休憩(水分と塩分の補給)	
15:00～15:40 グループディスカッション	
15:40～16:10 交流発表会	
16:10～16:30 閉校式(アンケート記入、未来博士号授与、記念撮影)	
16:30 終了・解散	

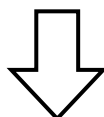
《お問合せ・お申込先》

所 属・氏 名：	大阪市立大学理学部附属植物園事務室 高島啓一(たかしまけいいち)
住 所：	〒576-0004 大阪府交野市私市2000
T E L 番 号：	072-891-2059
F A X 番 号：	072-891-2101
E - m a i l：	b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp (件名に「ひらめき☆ときめき」と明記)
申込締切日：	平成29年8月6日(日)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

《プログラムと関係する先生(代表者)の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
植松千代美	H21-H23	基盤研究(C)	21601004	市民参加による大学附属植物園を利用した環境教育プログラムの開発



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。